



Antony and Cleopatra

[INFORMATION]

彩の国さいたま芸術劇場全館リニューアルオープンについて

彩の国シェイクスピア・シリーズ第24弾「アントニーとクレオパトラ」

吉田鋼太郎、安蘭けい、インタビュ





彩の国シェイクスピア・シリーズが、全館リニューアルオープンの大ホールを飾る。登場するのは、絶世の美女クレオパトラと、その魅力に溺れる古代ローマの武人アントニー。ローマとエジプトを主舞台に、めまぐるしく舞台はまわる。燃え上がる情熱が嫉妬や裏切りをはらんで、2人の恋も行きつ戻りつのシーズンゲーム。波瀾万丈の史劇を堪能したい。

INDEX

INFORMATION 公益財団法人 埼玉県芸術文化振興財団からのお知らせ

彩の国さいたま芸術劇場
全館リニューアルオープンについて 03

PLAY 彩の国シェイクスピア・シリーズ第24弾『アントニーとクレオパトラ』

吉田鋼太郎、安蘭けい インタビュー 04

『アントニーとクレオパトラ』観劇前のプロローグ 06

DANCE ジェローム・ベル『ザ・ショー・マスト・ゴー・オン』 07

MUSIC 小曾根 真の現在 Vol.2 ソロ 10

MUSIC 小菅 優の現在 Vol.3 ピアノ・リサイタル

小菅 優 インタビュー 12

ESSAY アーティストの原点 Vol.4 飯森範親 14

REVIEW 2011.5月の彩の国のアーツ 15

EVENT CALENDAR & TICKET INFORMATION 16

THEATER BRIDGE 19

10月1日に彩の国さいたま芸術劇場が 全館リニューアルオープンします

彩の国さいたま芸術劇場では、東日本大震災の影響により遅れておりました施設等改修工事が8月末で完了する見込みとなったことから、9月1日から施設の利用を順次再開し、10月1日に全館リニューアルオープンします。

今回の改修工事の遅れにより、施設のご利用を予定されていたお客様、また、公演を楽しみにされていたお客様に大変なご迷惑をおかけしたことを、改めてお詫び申し上げます。

日本一の公共劇場を目指して、皆様により安全快適に施設をご利用いただくとともに、人々の心を豊かにし、明日への活力をもたらす世界トップレベルの芸術作品を創造、発信してまいりますので、多くのお客様のご来場を心よりお待ち申し上げます。

1 施設の利用について

- 稽古場・練習室、舞台芸術資料室、その他公共スペース… 9月1日(木)から
- 小ホール、音楽ホール… 9月17日(土)から
- 全館リニューアルオープン… 10月1日(土)
- ※ 施設の空き状況等につきましては、劇場(利用者担当)048-858-5501までお問い合わせください。

2 主催公演について

芸術劇場における財団主催公演につきましては、下記の公演から再開します。

- (1) 彩の国シェイクスピア・シリーズ第24弾『アントニーとクレオパトラ』(演出: 蜷川幸雄)
日時: 10月1日(土)から10月15日(土) 会場: 大ホール
- (2) 小曾根 真の現在 Vol.2 ソロ
日時: 10月1日(土) 開演 15:00 会場: 音楽ホール
- (3) 小菅 優の現在 Vol.3 ピアノ・リサイタル
日時: 10月15日(土) 開演 15:00 会場: 音楽ホール
- (4) 光の庭プロムナードコンサート 小野田良子(オルガン) & 渡辺 淳(尺八)
日時: 9月24日(土) 14:00 ~ 14:40 会場: 情報プラザ ※入場無料
- ※ 各公演のチケットにつきましては、財団チケットセンター 0570-064-939までお問い合わせください。

3 節電対策について

東京電力管内の夏期の電力不足に対処するため、劇場内の空調や照明設備の利用抑制等の最大限の節電に努めます。節電対策について、来場されるお客様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団

彩の国シェイクスピア・シリーズ第24弾

『アントニーとクレオパトラ』

国をとるか、愛をとるか。

2011年唯一の彩の国シェイクスピア・シリーズとして期待も高まる『アントニーとクレオパトラ』。ローマとエジプトを主な舞台に、国を揺るがす愛に燃えた2人を描くシェイクスピア円熟期の悲劇だ。10月の当劇場公演に続き、11月には韓国公演も決定している。タイトルロールを担う吉田鋼太郎と安蘭けいは、今、何を思うのか。取材・文：市川安紀 [ライター]

吉田鋼太郎 [マーク・アントニー]

彩の国シェイクスピア・シリーズの常連、吉田鋼太郎。『タイタス・アンドロニカス』『オセロー』では堂々たるタイトルロールを務め、昨春の『ヘンリー六世』では、物語の鍵を握るヨーク役で見せた、壮絶な死に様も記憶に新しい。

——アントニー役は3度目だそうですね。

10年以上前に1度、次は一昨年、自分の劇団で演出も兼ねて演じました。改めてじっくり取り組んでみると、さすがシェイクスピアだと感心しましたね。史劇なので一瞬取っ付きにくい印象があるかもしれませんが、これが本当に面白い芝居なんです。アントニーとクレオパトラにちゃんと血が通っている。“ロミオとジュリエットが年をとったらこんなことになりました”みたいなね(笑)。

——アントニーは国家よりも恋に走ってしまふ。非常に人間くさい男です。

この作品の前段階に当たるシェイクスピアの『ジュリアス・シーザー』では、アントニーは完全にローマの英雄として描かれているんですよ。ところが数年経つと、国のことは放ったらかしで、クレオパトラとイチャイチャしているところから始まる。その落差が激しいわけです。英雄でありながら、ダメおやじ。どちらかだけでは成立しない。今回は2つの面をきっちり出せればと思いますね。

——クレオパトラもその両面に惹かれた？

かもしれませんね。ただクレオパトラは、アントニーが敬愛していたシーザーの愛人だったわけです。シーザーほどの傑物には

なれなかったけれど、彼の愛人を自分のものにするので、アントニーはシーザーと肩を並べようとしたのかもしれない。クレオパトラと大ゲンカする時に、「お前はシーザーの皿の食い残しだ」なんて言うんですよ。ひどいでしょ。これ、完全にDVですよ(笑)。強い愛ゆえの嫉妬ですけどね。女か仕事かの二者択一を迫られて、結局女をとってしまう。そのうち盟友には見放され、一番の側近にも裏切られ……。裏切られるほど、逆にアントニーが愛しく見えてくるんです。

——オセローの愛の形ともまた違いますね。

そう、白人の美しい妻を持った黒人オセローのコンプレックスも身近に感じられますが、彼には“高潔な將軍”という形容がつく。アントニーはさらに下世話な、現実の自分たちに近い感覚でいいんじゃないかな、と。もちろん蜷川さんはきっちり悲劇として創られるでしょうけど、僕はできる限り卑近な、ダメ男の部分を出したい。

——タイトルロールとして期するところは。

今回は50歳も過ぎ、酸いも甘いも噛み分けた経験豊かな男の物語です。パワープレイで押し切るのではなく、細やかな“ひだ”を表現することに挑戦したいですね。安蘭さんはクレオパトラに血を通わせられるすごい役者さんだと思うので、彼女と一緒にやることでいいものが生まれる予感があります。シェイクスピアは「台詞が難しい」と思われがちですが、難しさを感じさせずに喋ることはできません。それがシェイクスピアをずっとやってきた人間の、大げさかもしれませんが、使命感だと思っています。

安蘭けい [クレオパトラ]

絶世の美女クレオパトラに扮するのは、宝塚歌劇団退団後も話題作の主演が続く安蘭けい。人物造形の確かさにも定評ある彼女にとって、待望の蜷川演出初挑戦となる。自身のルーツである韓国公演に寄せる思いも熱い。

——シェイクスピア作品は初めてとか。

そうなんです、宝塚時代も経験がなくて。シェイクスピアはとにかく言葉が多いということ、言い回しがストレートではない印象が(笑)。恋愛も争いも、何もかもドラマティックで壮大ですよ。でも、人間の本质をすごく突いている気がする。昔も今も変わらないんだなあ、と思わされます。

——クレオパトラといえば誰もが知る女性です。この作品での彼女はいかがですか。

同じ女性としても魅力を感じますね。美しいうえに頭がよくて。美しさを武器に男たちを手玉にとり、女王の地位を守ろうとした。そのしたたかさの一方で、「え、ここでそんなことを？」という言動も多いんですよ。それが男性を惹き付けるコツなのかと感心したり(笑)。でも最後は愛する人を追って死ぬわけですから、純粋で可愛い女性の姿が垣間見えるんです。蛇に自分を咬ませて死ぬという手段は壮絶ですが、彼女の人間らしさにはとても共感できました。

——役に向き合うという点では基本的に男性役も女性役も変わらないものですか。

それは同じですね。宝塚は夢の世界ですが、ただ綺麗なだけでは何も残らない、そこに真実がなければ意味がないと思っていました。二枚目だって、人間としての弱さ

を出してもいいんじゃないかと。“お人形さん”には全然魅力を感じないですよ。

——蜷川作品にはどんな印象がありますか。

宝塚時代から蜷川さんの舞台は大好きでよく拝見していました。宝塚で夢々しい舞台をやりながら、自分とのギャップをすごく感じていたんです。蜷川さんの舞台は宝塚とは真逆で、醜いものもすべてさらけ出して突きつけられる。「私がやりたいのは本当はこういう世界じゃないか」と思っていました。ただ、アプローチの方向性が違うだけで、舞台上から伝えたいことは両方とも結局同じだったんですけどね。明日からの活力になったり、勇気や愛だったり。その蜷川さんの舞台にこんなに早く出させていただけるのはもちろん光栄ですが、プレッシャーで押しつぶされそうです(笑)。

——シリーズ初の韓国公演もありますね。

私は在日三世なので、“凱旋公演”という思いですね。生まれ育ったのは日本だけど、体には韓国の血が流れている。宝塚時代も韓国公演に行かせていただいたんですが、自分の好きな仕事で両国の架け橋になれるなんて、神様がくださった本当に大きなプレゼントだと思います。蜷川さんも「私だから行く意味がある」と仰ってくださって。素晴らしい機会を与えていただきました。全てが初挑戦なので今までにない緊張感で稽古場に入るとは思いますけど、鋼太郎さんや皆さんの胸を借りて、今の自分に出来る限りの力を出し切るしかないですね。

したたかで純粹。
人間味あふれる魅惑の美女。

英雄にしてダメ男の
両面をいかに出すか。

これほど名高きものはない2人の愛と死 —— ジュリアス・シーザーが暗殺されたあと、物語は始まる

『アントニーとクレオパトラ』は、シェイクスピア作品では『ジュリアス・シーザー』『コリオレイナス』と並んで《ローマ史劇》の1本に数えられている。史実からいうと、『コリオレイナス』は、まだ古代ローマが一都市国家だった時代のBC 5世紀ころが舞台になっているが、『ジュリアス・シーザー』と『アントニーとクレオパトラ』は、ローマ帝国が成立（BC27）する前のローマ共和国時代のBC 44年から30年までのほぼ10年余の出来事を巧みに凝縮して舞台化している。

青年政治家から恋に溺れる中年男に

『アントニーとクレオパトラ』に登場するローマの三頭、マーク・アントニー、オクテヴィアス・シーザー、レビダスは、『ジュリアス・シーザー』でも活躍する。特にシーザーの腹心アントニーは、シーザーがブルータスに暗殺されたあと、「ブルータス万歳」と叫ぶ市民を前に、巧みな弁舌をもってシーザー追悼の演説を行う。すると市民はいとも簡単に反ブルータスとなり、ローマ市民によりブルータスは追われる身になるのである。

こうして三頭政治の時代が始まるのだが、『ジュリアス・シーザー』で名演説を披露した青年政治家アントニーは、『アントニーとクレオパトラ』では43歳の白髪まじりの中年男として登場する（ちなみに、このときクレオパトラは女盛りの29歳）。享楽派、現実派だったアントニーが、クレオパトラの魅力とローマの武人である名誉の間に引き裂かれて破滅する悲劇的な英雄として描かれているのも面白い。

一方、オクテヴィアス・シーザーはジュリアス・シーザーの養子。若々しい行動家、自信に満ちた野心家に見えるが、常にジュリアス・シーザーの大きな存在を背負って登場する青二才だ。

見事なまでのクレオパトラの自尊心

さらにいえば、クレオパトラはジュリアス・シーザーの愛人だった。それも20歳を過ぎたばかりの深窓の王女が大シーザー（時に54歳）の心をとらえたのである。シェイクスピアは、そのクレオパトラの美と魅力余すところなく描いている。大ローマを向こうにまわし、変幻自在に振る舞うエジプトの女王だが、最後はアントニーの妻として死を望み、敗れてなお逆勝を誇る調べのように夢を見て息を引き取る。

死に損ね、クレオパトラのもとに運ばれて息絶えるアントニーの死が落日だとすれば、従者のシャミアンが讃えつつ眩くうちに昏睡、死んでいく女王はのぼりゆく太陽のようだ。ロミオとジュリエットの世界にはなかった苦渋と、それをはるかに超えた深い2人の世界がそこには広がっている。

◎関連古代ローマ史

BC51 クレオパトラ（18歳）、弟のプトレマイオス13世（10歳）と共にエジプトの共同統治者となる。

BC48 クレオパトラ、ジュリアス・シーザーを誘惑。

戯曲『ジュリアス・シーザー』の時代

BC46 クレオパトラ、ローマへ移り、公然とシーザーと暮らす。

BC44 ジュリアス・シーザーがブルータスらに暗殺される。シーザーの有名なセリフ“ブルータス、お前もか！”アントニー、シーザーの屍を前に“ブルータスは高潔の士である”と市民を前に演説する。（クレオパトラ、ローマを去る。※戯曲には登場しない）

BC43 アントニー、オクテヴィアス、レビダスの三頭政治成立。

BC42 ブルータスとカシアスは共和制に殉じて死ぬ。オクテヴィアスは、ブルータスの遺体を丁寧に埋葬するように命じ、戦闘の終結を宣言する。

BC41 クレオパトラとアントニーが初めて出会う。

戯曲『アントニーとクレオパトラ』の時代

BC40 アントニー、オクテヴィアス・シーザーの姉オクテヴィアと結婚。

BC34 アントニー、クレオパトラと子どもたちに東方領土を与える。

BC32 三頭政治解消。アントニーとオクテヴィアスの中傷合戦。オクテヴィアス、クレオパトラに宣戦布告。アントニー、オクテヴィアに離縁状を送る。

BC31 シーザー、アクティウム海戦でアントニー・クレオパトラ連合軍を下す。クレオパトラのエジプト艦隊、逃げ出す。

BC30 アントニー、クレオパトラ、相次いで別々に自害。エジプトはローマ領となる（ローマ帝国、地中海征服の完成）。

BC27 オクテヴィアス、元老院からアウグストゥスの尊称を受け、古代ローマ帝国の初代皇帝となる。



Photo: Herman Sorgeloos

ダンス界の「革命家」ジェローム・ベル

Jérôme Bel

『The Show Must Go On』

文：越智雄磨 [ダンス研究]

振付家としてデビューした1994年以降、ジェローム・ベルはコンテンポラリー・ダンス界で最も先鋭的な試みを行ってきた振付家の一人として知られている。近年、代表作『ザ・ショー・マスト・ゴー・オン』がベッシー賞を受賞し、リヨンオペラ座バレエ団のレパートリー（2007年～2014年）に加えられた事実はその高評価を物語っている。初期作品から現在の新作に至るまで、彼の作品は世界中の様々な都市で上演され続けている。

現在は先鋭的な振付家としてその評価は

定着しているが、デビュー当初のベルの作品に対する評価は毀誉褒貶相半ばし、フランス及びヨーロッパのダンスシーンに大きなセンセーションを巻き起こした。デビュー当時あまりに実験的だった彼の作品は、新しい芸術と言われるコンテンポラリー・ダンスの中にあっても際異色であり、その意図を理解できなかった観客も少なからずいた。ベルに払い戻しを要求した観客もいれば、時には「これはダンスではない」と怒った観客が裁判を起こしたこともあった。多くの観客がベルの作品をどの

ように受け止めてよいか戸惑ったのである。しかし、これらのエピソードは今から見れば、ベルが行ったことがいかに革新的であり、いかにダンスの世界に新しいパラダイムを切り開いたものであったかを証明するものとも言える。今や、時代がベルに追いついたとも言えるし、ベルはその創作キャリアの過程で観客に自身のコンセプトを巧みに伝達する方法を練り上げていったとも言える。彼の創作動機やその試みについていくつかの作品に触れながら紹介してみたい。

11月、ジェローム・ベルの代表作『ザ・ショー・マスト・ゴー・オン』を彩の国で上演する。デビュー当時、彼の実験色に富んだ作品は、ヨーロッパのダンス界で物議をかもした。そこには、視覚芸術として楽しむためのだけの「ダンス」と観客に問いかけ、しかし、彼の舞台ほど、「ダンスとは何か？」と観客に問いかけ、ダンスを観る以上の体験をさせてくれるものはそうそうない。

彩の国シェイクスピア・シリーズ第24弾『アントニーとクレオパトラ』

日時：10月1日（土）～10月15日（土）

会場：彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

演出：蜷川幸雄 作：W.シェイクスピア 翻訳：松岡和子

出演：吉田鋼太郎 安蘭けい 池内博之 橋本じゅん 中川安奈 熊谷真実 ほか

チケット（税込）：

一般 S席9,000円/A席7,000円/B席5,000円/学生B席2,000円

メンバーズ S席8,100円/A席6,300円/B席4,500円

10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月祝	火	水	木	金	土
13:00		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
17:00	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
18:30			●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

★：映像収録のため、客席内にカメラを設置いたします

The last performance



『ザ・ラスト・パフォーマンス』(1998) Photo:Herman Sorgeloos



一癖も二癖もある振付家

奇妙に感じられるかもしれないが、彼の創作の原点には「ダンス」に対するある種の疑念がある。ベルは1992年までダンサーとして、ダニエル・ラリュエ、アンジュラン・ブレルジョカージュといったフランスを代表するコンテンポラリー・ダンスの振付家の作品に出演していた。1989年にはダンスカンパニー・レスキスのダンサーとして来日もしている。だが、そのような順風満帆のダンサー生活を8年続けた彼は、いつしか自身が関わってきたカンパニーのダンスよりも「もっと野心的なことができないか?」と感じるようになった。そして1992年のアルベールビル冬季オリンピックのセレモニーを演出したフィリップ・ドゥクフレの助手を務めた後、ダンサーから振付家への転身を決意する。

ベルの作品の特徴は一部で「ノン・ダンス」と評されたように、ダンスらしいダンスを行わないことが一つの特徴として挙げられる。それは単に踊らないということではなく、その背後には視覚芸術として「ダンス」を見せること以上の意味と体験を観客に伝えたいという野心があった。また彼の創作の思想的背景として見逃せないのは「構造主義」以降のフランス現代思想の影響である。ダンサー活動を停止した1992年から振付家デビューを果たす1994年の2年の間、彼は自身のアパートの近所にできた図書館に通い、1日6時間本を読む日々を過ごした。そこで読まれたのは、ミ

シェル・フーコーやジル・ドゥルーズ、ロラン・バルト、ジュリア・クリステヴァなどのフランスを代表する思想家たちの本である。この経験は「ダンス」を斜めから見るとジェローム・ベルという一癖も二癖もある振付家の誕生に大きく関わっている。

いわゆる「ダンス」という「ダンス」は観られない

1995年の作品『ジェローム・ベル』では、美術や音楽、照明といった要素は極力排除され、ダンスは踊られず、パフォーマンスは全員裸である。ベルはいかなる意味や虚飾も取り除いた「零度」の身体を志向することから出発したと述べるが、これはバルトの「零度のエクリチュール」のダンスへの応用である。そして零度の、いわば白紙状態にある身体に徐々に意味が重ねられていく。たとえば、出演者は自身の身長、体重、年齢、電話番号、預金残高などを舞台上に書き込むことで身体と意味を結びつける。それにより観客は舞台上に存在する世界や身体が決して虚構ではなく、自分たちのいる社会と地続きにあることに気づかされる。舞台上の身体はキャラクターなのか一人なのか? そのような身体の二重性をラディカルに問う作品でもあった。

1997年の『シャートロジー』では、ベルはバルトの試論「衣服の歴史と社会学」から着想を得て、誰にとっても身近な衣服であるTシャツをテーマにしようと考えた。「裸(零度)」の次は「衣服」というわ

けである。パフォーマンスは何重にも重ね着したTシャツを一枚ずつ脱ぎ捨て、その度に現れるTシャツにプリントされたメッセージや数字、イラストに関連する動きを行う。その様子はユーモラスであり、パフォーマンスとTシャツが示す記号の関係性、規則性を解釈する知的な楽しみを観客に提供してくれる。

1998年の『ザ・ラスト・パフォーマンス』はベルが初めて明瞭に「ダンス」を取り入れた作品であるが、それはやはり型破りな方法で実行される。ドイツの振付家スザンヌ・リンケの了承を得て、その作品『聖変化』(1978)の振付の一部を引用し、執拗に繰り返すのである。こうした作品の外部と参照関係を結ぶ「引用」はバルトやクリステヴァなどが文学に見出し、言及してきたものだが、それが方法としてダンスの世界で戦略的に実践されたことはなかったのではないだろうか。繰り返しのダンスを見せられる観客はそのダンスに満ちたロマンティズムに陶酔するのではない。寧ろ覚醒した状態で「ダンスとは何か?」というベルの実験に参加するのである。

身体と知性のスリリングな冒険

ここで部分的に紹介した初期の3作品はどれも実験色が強く、万人受けをするものではなかったが、決して理論だけが先行しているわけではなく、ベルのもう一つの特徴であるユーモアに富み、ダンスという自身の身体が介在した芸術にしかなしえない



Shirtology

『シャートロジー』(1997) Photo:Herman Sorgeloos

ものであった。これらの作品はそれまでのコンテンポラリー・ダンスに飽きを感じ始めていた観客や演劇・ダンス業界の人々の心を強く捉えた。パリ・オペラ座の芸術監督ブリジット・ルフェーブルもベルの作品に魅了された1人である。彼女の依頼により、ダンス界の「革命家」ベルはバレエの殿堂であるオペラ座での創作に取り掛かることになった。それが2004年に発表された『ヴェロニク・ドワノー』である。

この創作に当たって、ベルは自身にとって未知の存在であるオペラ座のダンサー達を「特別な規則に従って生きる別の部族」と捉え、「民族学者になったつもりでその部族の調査を行った」と述べている。その調査対象として選ばれたのがヴェロニク・ドワノーという1人の引退間際のダンサー

だった。ドワノーは自らの思い出や心情を語りながら、これまでにオペラ座で踊ってきたダンスを披露する。完全無欠のイリュージョンの創造を志向するオペラ座の舞台の上に、普段の公演ではあるはずもない稽古着姿のまま赤裸々に自らを曝すドワノーの姿に観客は驚き、心を揺さぶられた。さて11月に彩の国さいたま芸術劇場で上演される日本版『ザ・ショー・マスト・ゴー・オン』について少し触れたい。これはベルの傑作である。舞台上には普段私たちが劇場で観るようなダンスは現れない。だが、それぞれの観客の内にはたしかに「ダンス」が芽生えるだろう。ベルの知的な戦略と挑発、そしてユーモアは、私たちがいつも劇場で行う鑑賞体験とは違った、身体と知性のスリリングな冒険に誘ってくれるはずである。

Veronique Doisneau



Photo:Anna Van Kooij 『ヴェロニク・ドワノー』(2004) Photo:Icare



ジェローム・ベル Jérôme Bel

1964年フランス生まれ。パリに在住し、世界的に活躍するダンサー、振付家。身体表現に説明的な言葉を織り交ぜたコンセプチュアルな作品で知られる。92年のアルベールビルオリンピックでは開会式・閉会式の演出を担当したフィリップ・ドゥクフレの助手を務める。94年に最初の振付作品を発表して以来、多数の作品を発表している。2004年にはパリ・オペラ座バレエ団に招かれ『ヴェロニク・ドワノー』を上演。01年に発表した代表作『ザ・ショー・マスト・ゴー・オン』は、05年のニューヨーク公演においてベッシー賞を受賞した。

ジェローム・ベル『ザ・ショー・マスト・ゴー・オン』

日時:11月12日(土)~13日(日) 各日開演16:00 ※上演時間約90分 途中休憩なし
会場:彩の国さいたま芸術劇場 大ホール ※12日(土)公演終了後、ジェローム・ベルによるアフタートークあり
構成・演出:ジェローム・ベル 出演:日本版キャスト(26名)
チケット(税込):一般 前売3,000円/当日3,500円 (学生は前売・当日とも2,500円)
メンバーズ 前売2,700円/当日3,200円
発売日:一般8月28日(日) メンバーズ8月20日(土)



Photo:Kiyotaka Saito

小曾根が奏でる一期一会の音楽

世界的ジャズ・ピアニスト 小曾根 真の「現在」を追うシリーズ第2回。ピアニストの児玉 桃をゲストに迎えた第1回でのジャズとクラシックという出自の違う2人によるセッションは、刺激的で興奮にみちたものだった。今回は、小曾根のソロ・ライブで、プログラムは演奏会当日までのお楽しみ。「今、その場で音楽が生まれる瞬間を大切にしよう」という、自由で予測不可能で、生命力にあふれた彼の音楽に身も心もゆだねよう。

MAKOTO OZONE



今年5月に開催されたラ・フォル・ジュルネ(会場:東京国際フォーラム)での小曾根のライブの様子 Photo:三浦興一



文: 林田直樹 [音楽ライター]

最初の音で、もう涙が出てしまった。去る5月4日、東京国際フォーラムの展示ホールでの小曾根 真のライブでのこと。震災直後で開催が危ぶまれていたラ・フォル・ジュルネ(熱狂の日音楽祭)に飛び入り参加した彼は、「Reborn」(再生)というバラード曲で静かにコンサートを始めた。

それは、困難な状況に置かれている私たちが、いままさに求めている音そのものだった。

知らず知らずのうちに、緊張と不安の中で疲れていた聴衆の心に、小曾根 真のピアノの音は、フッと、奥まで沁みこむように、入りこんできた。

何という優しく、暖かい音だったことだろう。

3000人くらいはいただろうか、大変な数の聴衆がそこには集まっていた。泣いていた人もいたと思う。

小曾根 真は、聴き手の心の状態をよく感じながら、そのときその場にもっともふさわしい音楽を演奏することのできるピアニストである。

そもそもジャズ・ピアニストだった彼が、クラシック音楽を本格的に探究し始めたのは7年ほど前のこと。最近の彼のコンサートは、クラシックのものも多く、モーツァルトやショスタコーヴィチの協奏曲をオーケストラの定期演奏会で弾くなど、本格的な取り組みとなっている。もちろん、その一方でジャズも続けている。双方のジャンルでの活動が、それぞれにフィードバックされる面白さもあるようだ。

クラシックとジャズのクロスオーバーというと、これまでも無数の例があるが、小曾根 真がピアノの世界で行っている追求は、その中でも飛びぬけてエキサイティングなものだ。

彼の演奏は伝統に敬意を払いつつも、とても自由で、遊び心と喜びに満ち、常にはちきれんばかりの音楽の生命力にあふれている。そして、冒頭に述べたように、聴く人をたった一音で涙させるほどの、優しさや善良さにあふれている。聴き手のコンディションやその日の状況を敏感に感じ取りながら、そのとき、その場でしか演奏できない、一期一会の音楽をする人であるということも、大きな特徴である。

だから、あらかじめかっちり曲目を決めることもあるけれど、そのときその場の音楽的な判断や即興性に、いちばん小曾根 真「らしさ」が出る。

冒頭に述べた「ラ・フォル・ジュルネ」でのコンサートも、1時間ほど前にブラームスをタンゴ風に即興することを決めてプログラミングしたという。こうした閃きが、彼のライブの1回1回を、特別なものになっている。

現在の小曾根 真にとっての最も大きなテーマは、「音楽の力で、どのようにして人々を励ましていけるか」「いかに共存して生きていくか」ということのようなのだ。つい最近、彼は世界の一流ジャズ・ミュージシャンを集め、チャリティCDをニューヨークで録音しているが、それもそうした意識の一つの表れだろう。

彩の国さいたま芸術劇場での「小曾根 真の現在」第2回では、10月1日の段階で私たちが一番聴きたい音が聴けるはずだ。そこには、モーツァルトやショパンやショスタコーヴィチが顔を出すかもしれないし、しっかりとした優しいジャズのバラードが演奏されるかもしれない。ありとあらゆる可能性があるコンサート。心を白紙に、ただ素敵なピアノを聴きに、出かけた。



Photo:Florian Burger

小曾根 真 おぞね まこと ●ピアノ

父・小曾根 実の影響でジャズに興味を持ち、独学で音楽を始める。1983年パークリー音楽大学を首席で卒業。同年、米CBSと日本人として初めて専属契約を結び、全世界デビュー。2003年ゲイリー・パートンのデュオアルバムで第45回グラミー賞にノミネート、パークリー音楽大学より名誉博士号を授与される。近年はクラシックにも本格的に取り組み、国内外のオーケストラと共演を重ねる。他、舞台音楽やドラマ音楽を手がける等、精力的に活動を続けている。
www.makotoozono.com/

小曾根 真の現在 Vol.2 ソロ

日時:10月1日(土) 開演15:00
会場:彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
曲目:当日発表
チケット(税込):
一般 正面席5,000円
バルコニー席4,000円(学生2,000円)
メンバーズ 正面席4,500円



音楽の新時代を作り出そうとした200年前の天才たち
小菅優によってよみがえるシューマンとリスト

「現在」シリーズは、その演奏家が現時点において最も関心の深い作品を取り上げて、3回の演奏会で披露するというものだが、この10月15日の演奏会でピアニスト・小菅 優のシリーズはいちおう完結する。

「とても大事にしていたこのシリーズもあつと言う間に3回目になってしまいました。第1回はデュオとトリオ、第2回は室内楽を中心にしたプログラムで、主にシューマンの作品を取り上げてきました。第3回はこれまでの室内楽の演奏経験を通して得たものを生かして、シューマンとリストのピアノ・ソロ曲を演奏します」

シューマンとリストは同時代に生きた作曲家であり、お互いの作品を知っていて芸術的な交流も深かった。

「今回そのふたりの作品の中でも、特に物語性が強く内包されているものを選びました。例えばシューマンの《蝶々》。この曲はシューマンが好きだった作家ジャン・パウルの『生意気ざかり』のある場面から構想された作品です。リストの《ヴェネチアとナポリ》にはロッシェニの書いたオペラ《オテロ》に登場するテーマが使われています(第2曲)。またリストの《詩的で宗教的な調べ》はフランスの詩人の作品からそのタイトルを借りた作品。そうした様々な文学的要素はシューマンとリストだけでなく、ロマン派を語る上で欠かせない要素

です」

子供の頃から物語と音楽を結びつけて育ってきたという小菅。彼女がロマン派の作品に魅かれるのも自然なことだった。

「シューマンの《幻想小曲集》もそうですが、ひとつのサイクルを形作る連作が好きなんです。お話が次から次へと登場して、それが繋がって大きな作品世界を作っていく。子供の頃から母が図書館でのお話の会に連れて行ってくれたり、曲を聴いてそこから物語を作ったりするのが好きでした。それが原点となって、今でも作品の中に物語を想像していくのが楽しいですね」

リストは2011年で生誕200周年を迎えた。シューマンは昨年がそうだった。200年という時間の流れを超えて、みずみずしい小菅の演奏によって、彼らの作品はたちどころに現代に生き返る。

「リストの《詩的で宗教的な調べ》はロマン派を代表する作品だと言って良いと思います。単なる大作曲家リストではなく、ロマン派を代表する作曲家としてのリストの存在をもっと強く感じて欲しいです。リストの初期の作品はヴィルトゥオーゾ・ピアニストが即興的に書き上げたような雰囲気作品が多く、今でも演奏されるのはそうした作品が多いのですが、後期になると、リストの作品も変わってきます。宗教的な深さをたたえ、音楽的にも内容豊

かな作品が増えてきます。リストは旅も多かったし、その経験をもとに《巡礼の年》という連作を書いています。各地を旅することで、コスモポリタンな彼の性格が形作られたのではないのでしょうか。私も旅が好きで、その経験に大きな影響を受けているので、そんな風に思いますね」

リストとシューマンの関係は、才能ある作曲家同士としてちょっと複雑な一面もある。

「一種のライヴァル意識もあったでしょうね。お互いにその才能を評価しているけれど、それぞれの作品については厳しいことを言ったり。ただ、リストはピアニストとして素晴らしい才能を持ち、シューマンは作曲だけでなく、文章も書く評論家としての側面もあり、それぞれの生きる方向も違っていたのかも」

リストはシューマンの《子供の情景》を自分の子供たちに演奏して聴かせたこともあった。またシューマンの《謝肉祭》はリストの演奏会の重要なレパートリーでもあった。

「ショパンやメンデルスゾーンも含めて、シューマンとリストの時代は新しい才能が次々と登場してきた時代です。お互いがその才能を知り、新たな音楽を目指した時代でもありました。その熱い時代を演奏会を通して感じて頂ければと思います」



小菅 優 こすげ ゆう ●ピアノ

高度なテクニックと美しい音色、深い楽曲理解と若き感性で現在最も注目を浴びている若手ピアニストの一人。2005年カーネギーホールでのリサイタルでニューヨーク・デビュー、06年にザルツブルク音楽祭リサイタル・デビュー、09年には小澤征爾指揮水戸室内管弦楽団と共演するなど国内外でその活躍の場を広げている。これまでにソニーより9枚のCDをリリースしており、いずれも好評を博している。

小菅 優の現在 Vol.3 ピアノ・リサイタル

日時：10月15日(土) 開演15:00 会場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
曲目：シューマン：蝶々 作品2
シューマン：幻想小曲集 作品12
リスト：ヴェネチアとナポリ S 162
シューマン(リスト編曲)：春の夜 作品39-12
シューマン(リスト編曲)：献呈 作品25-1
リスト：《詩的で宗教的な調べ》より 第3曲《孤独の中の神の祝福》

【1回券】

チケット(税込)：
一般 正面席4,000円/バルコニー席3,000円(学生1,500円)
メンバーズ 正面席3,600円

【ピアノ・エトワール・シリーズVol.16、Vol.17との3公演セット券】

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.16 ダヴィッド・フレイ/11月26日(土) 開演15:00
ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.17 金子三勇士/2012年3月18日(日) 開演15:00
チケット(税込)：一般・メンバーズ 正面席9,500円/バルコニー席8,000円(学生3,500円)

INTERVIEW

with

YU KOSUGE

若手の中で最も注目を集める小菅 優の「現在」を追うシリーズ最終回。敬愛するシューマンと、生誕200年のリストをテーマに、自身の原点を探るプログラムが披露される。彼女の研ぎ澄まされた感性と知性には、毎度驚かされてきたが、今回はこれまで以上に彼女の内面に触れられる演奏会になりそうだ。

Artist's Starting Point Vol.04

アーティストの原点 飯森範親



Photo: Yuki Hasumoto

毎年恒例の「夏休みオーケストラランド！」でオーケストラの楽しみを届けてくださる指揮者の飯森範親さん。国内外のオーケストラでタクトを振り、現在は、東京交響楽団正指揮者のほか、山形交響楽団の音楽監督としても、精力的な活動を続ける。これまでの音楽家人生を辿りながら、その原動力に迫る。

取材・文：萩谷由喜子 [音楽評論家・女性音楽史研究]

祖父のチェロとSPレコードを聴いて

鎌倉生まれの葉山育ちです。両親は音楽家ではありませんが、祖父が京大オーケストラで朝比奈隆先生とごいっしょ。子どもの頃は枕元で祖父がチェロを奏でていました。それと父がSPレコードのファンで、その影響も受けました。あるとき、ルービンシュタインの弾くチャイコフスキーのピアノ協奏曲を聴かせてもらって強い印象を受け、ピアノに興味を持ったんです。ピアノは高額でしたが、父は買ってくれまして、習い始めたのが4歳になる頃。母はいくつもの鍵盤を同時に鳴らして音を当てる遊びをしてくれました。

10歳の頃、ラヴェルの《ボレロ》を聴いて指揮者になりたいと思いましたが、ただ、当初父の賛成は得られませんでした。高校は普通高校へということで県立追浜高校に進学。志望校を桐朋に決めても、なかなか言い出せませんでした。入学金も授業料も高額ですし、受験のためにつく先生方のレッスン料もかかるからです。そのような状況でも母は応援してくれました。幸い、レッスンをして下さった先生方が素晴らしい方ばかり。勉強さえしていけば長時間みてくださいました。作曲の近藤譲先生と指揮の川合良一先生は鎌倉にお住まいでしたから時間を有効に使えました。ピアノの雨田信子先生、指揮の高階正光先生には本当にお世話になりました。

おかげで無事桐朋学園大学指揮専攻に合格。一般高校から現役で入学した第一号です。

喜んだのも束の間、すぐに挫折。なぜって、附属高校からきた連中のすごいなんのって、僕の同期はことに人材揃いでした。尾高忠明先生、小澤征爾先生、秋山和慶先生

には怒られるばかり。落ち込みましたが、楽譜はうそをつかない。そう考えて楽譜を徹底的に読み込み、大学時代に200曲は暗譜しました。

自分の音楽家人生をつくるのは

転機は3年生のとき。ジャン・フルネ先生の特別レッスンでドビュッシーの《海》と、ラヴェルの《ダフニスとクロエ》を振ったところ、「素晴らしい！あなたにはフランス人のような感性がそなわっている」と激賞してくださったんです。これを大きな励みに発奮し、4年生のとき東京指揮者コンクールで1位なしの2位に。これで仕事がくるかといえば、そんなに甘くはありません。やはり本場で勉強したくてドイツに留学しました。

最初はベルリン。ベルリン・フィルはカラヤン先生の時代で、練習を見学させて頂きました。次にミュンヘンに移り、サヴァリッシュ先生のもとで練習ピアノを弾かせていただきながらオペラの勉強を。こうして28歳までドイツで多くのことを蓄積し、また多くの人のつながりができました。帰国すると留学中に知り合った人とだんだん疎遠になる場合も多いのですが、僕はずっと連絡をとり合って人間関係を大切にしてきました。当時のドイツのマネージャーがその後ヴェルテンベルク・フィルの音楽監督就任のきっかけを作ってくれましたし、大変お世話になっています。

帰国してからはなんといっても東京交響楽団との出会いが大きいですね。縁あって94年から専属指揮者にいただき、海外ツアーにも同行し04年から正指揮者に。山形交響楽団から常任指揮者の依頼を受けたときも当時の東響の楽団長が「行くからには結果を出せよ」とハッパをかけて

くれたおかげで、山響の仕事にも火がつけました。今は音楽監督として山形県知事さんはじめ関係者とよく協議し、みんなでアイデアを出し合っています。

亡くなった母がいつも「ありがとう」と口に出して言いなさいよ、と言っていました。僕はこれらすべての出会いに「ありがとう」と言いたい。だって、人とのつながりが僕の音楽家人生をつくってくれたのですから。そして、なにごとにもプロセスを大事にして、プロセスを楽しむ気持ちでやっていきたいですね。そうすれば、辛さも喜びに変わり、それがエネルギーになります。指揮者として、聴きに来て下さる方々、演奏する方々みんながどうしたらハッピーになれるのか、三位一体の幸せですね、それをつねに考えているんです。

単純なリズムの繰り返しなのに、なぜこんなに感動するのだろう

ラヴェル作曲《ボレロ》

「管弦楽の魔術師」とよばれるフランスの作曲家モーリス・ラヴェルが作曲。小太鼓がきざむスペインの民族舞踊「ボレロ」のリズムにのせて（なんと169回も繰り返される！）、2種類のメロディーを色々な楽器がかわるがわる演奏する。楽器が重ねられてゆき、オーケストラの総奏によるラストへ向けて曲全体がひとつのクレッシェンド（だんだん強く）で書かれていることから、「世界一長いクレッシェンド」の異名を持つ。

PROFILE

いいもりのりちか ● 桐朋学園大学卒業。ベルリンとミュンヘンで研鑽を積む。1994年から東京交響楽団の専属指揮者、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者、大阪・オペラハウス管弦楽団常任指揮者、広島交響楽団正指揮者などを歴任。96年の東京交響楽団ヨーロッパツアーでは「今後、イイモリの名が世界で注目されるであろう」と絶賛された。2003年、NHK交響楽団定期演奏会でマラー：交響曲第1番を指揮し、年間ベスト10コンサートに選ばれた。04年シーズンより山形交響楽団の常任指揮者に、07年より音楽監督に就任、次々と新機軸を打ち出してオーケストラの活動発展と水準の向上に目覚ましい成果を挙げている。現在、東京交響楽団正指揮者、いづみシンフォニーエッタ大阪常任指揮者、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団名誉指揮者、ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者。

Review 2011.5の彩の国のアーツ



Photo: 加藤英弘

MUSIC 5月24日 埼玉会館ランチタイム・コンサート 第14回 NHK交響楽団メンバーによる弦楽四重奏

お昼どきの50分間、気軽に音楽を楽しむランチタイム・コンサート。回を追うごとに人気が高まる本シリーズも遂に5年目に突入。今回は、日本を代表するオーケストラ、NHK交響楽団の精鋭による弦楽四重奏カルテット・リゾナンツァが登場。演奏者による肩ひじはらないトークとともに、ヴァイオリンとヴィオラ、チェロが紡ぐ優雅なメロディと豊かなハーモニーがホールに響き渡った。ベートーヴェンの弦楽四重奏曲第6番の全曲演奏のほか、2曲を演奏。アンコールにも応え、時間いっぱい楽しめるコンサートとなった。

MUSIC 5月28日 熊谷会館ファミリー・コンサート 音楽の絵本

動物たちだけで結成された金管五重奏団「ズーラシアンプラス」と弦楽四重奏団「弦うさぎ」。東京交響楽団との共演や海外公演など幅広く活動する彼らがついに熊谷会館に登場。ホール入口では「ズーラシアンプラス」による開幕のファンファーレが鳴り響き、これから始まるコンサートに子どもたちはわくわくどきどき。コンサートでは、楽器紹介や短いお芝居をはさみながら、童謡からクラシックまで様々な曲が次々と演奏され、子どもたちは彼らの奏でる生の音楽に目を輝かせながら熱心に耳を傾けていた。

※本公演では、この度の東日本大震災で埼玉県内に避難されている方々を無料でご招待し、7組26名の皆様にご来場いただきました。



Photo: 加藤英弘

【支援金のご報告】

5月24日(火)「埼玉会館ランチタイム・コンサート第14回 NHK交響楽団メンバーによる弦楽四重奏」及び、5月28日(土)「熊谷会館ファミリー・コンサート 音楽の絵本」にて、「東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド」への支援金の募金をお願いいたしました。皆さまにご協力いただき、集まった支援金合計額は67,604円になりました。お預かりしましたこの支援金は公益社団法人企業メセナ協議会「芸術・文化による震災復興支援ファンド」へ寄付させていただきます。皆様の温かいご協力が心より御礼申し上げます。

公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団



東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド

企業メセナ協議会

公益社団法人企業メセナ協議会ホームページ <http://arts-fukkou.blogspot.com/>

EVENT CALENDAR
2011.7.15-2011.9.16

7 July

21 木	CINEMA 彩の国シネマスタジオ 埼玉会館上映会『フラガール』 上映時間 10:30 / 14:30 / 18:30 ※詳細は下枠にて
23 土	DANCE 日本昔ばなしのダンス 近藤良平 / 伊藤千枝 開演 13:00 / 15:30 会場=埼玉県立近代美術館 講堂 (JR北浦和駅 西口徒歩3分) ※予定枚数終了いたしました
31 日	MUSIC 埼玉会館ファミリー・クラシック 夏休みオーケストラバンド! 開演 14:00 ※予定枚数終了いたしました

8 August

9 火	DANCE 熊谷会館バレイエ・セミナー ※受講申込みは締め切りました
11 水	
15 月	CINEMA 彩の国シネマスタジオ 埼玉会館上映会 終戦記念日特別企画 『第五福竜丸』上映会 + アーサー・ピナード氏講演会 【上映】10:30 / 16:00 / 18:45 【講演】13:15 ~ 15:05 ※詳細は下枠にて
26 金	PLAY 『身毒丸(しんとくまる)』 開演 19:00 会場=天王洲 銀河劇場 ※詳細はP.18にて
27 土	PLAY 『身毒丸』 開演 14:00 会場=天王洲 銀河劇場
28 日	PLAY 『身毒丸』 開演 13:00 会場=天王洲 銀河劇場
29 月	PLAY 『身毒丸』 開演 14:00 / 18:30 会場=天王洲 銀河劇場
30 火	PLAY 『身毒丸』 開演 14:00 会場=天王洲 銀河劇場

9 September

1 木	PLAY 『身毒丸』 開演 14:00 / 18:30 会場=天王洲 銀河劇場
2 金	PLAY 『身毒丸』 開演 14:00 会場=天王洲 銀河劇場
3 土	PLAY 『身毒丸』 開演 13:00 / 17:30 会場=天王洲 銀河劇場
4 日	PLAY 『身毒丸』 開演 13:00 会場=天王洲 銀河劇場
5 月	PLAY 『身毒丸』 開演 14:00 / 18:30 会場=天王洲 銀河劇場
6 火	PLAY 『身毒丸』 開演 13:00 会場=天王洲 銀河劇場
13 火	CINEMA 彩の国シネマスタジオ 埼玉会館上映会 シネコンサート (無声映画上映ピアノ伴奏つき) 『キートンの探偵学入門』『チャップリンの失恋』 上映時間 14:00 ※詳細は下枠にて
16 金	MUSIC 埼玉会館ランチタイム・コンサート 第15回 三浦一馬 バンドネオン・リサイタル 開演 12:10 ※詳細はP.18にて

※東日本大震災の影響に伴い、やむを得ず開演時間・公演内容が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。お問い合わせは、<http://www.dance-media.com/vidiodance/>

7月…彩の国さいたま芸術劇場：18日(月)、25日(月) 埼玉会館：25日(月)
8月…彩の国さいたま芸術劇場：8日(月)、15日(月)、22日(月)、29日(月)
埼玉会館：3日(水)、17日(水)、24日(水) 熊谷会館：14日(日)、15日(月)
9月…彩の国さいたま芸術劇場：12日(月)、26日(月)
埼玉会館：14日(水) 熊谷会館：15日(木)

彩の国シネマスタジオ
LINE UP 2011.7-9

【会場】埼玉会館 小ホール ※7~9月の彩の国シネマスタジオは埼玉会館で上映いたしますのでご注意ください。
【料金】7月・8月…大人一律1,000円 / 小中高生800円
9月…一般：前売1,500円 / 当日2,000円 メンバース、60歳以上、障がい者、小中高生：前売・当日とも1,500円
【発売日】9月上映会のみ前売りあり / 7月21日(木) ※7月、8月の上映会は当日支払いのみ。

埼玉会館上映会 7月



『フラガール』

常盤ハワイアンセンター(現:スバリゾートハワイアンズ)の誕生秘話を、ハワイアンミュージックと本格的なフラダンスにのせて描く、涙と笑いの感動作。
7月21日(木) 10:30 / 14:30 / 18:30
※14:30上映回は音声ガイドがつきます。
イヤホン付きFMラジオ受信機を使用しますので、お聴きになる方はご持参ください。
※14:30上映回終了後、映画評論家・石子順氏によるアフタートークがあります。
監督=李 相日
出演=松雪泰子 豊川悦司 蒼井優 ほか (2006年 / 日本 / 120分)

終戦記念日特別企画

『第五福竜丸』上映会 + アーサー・ピナード氏講演会
1954年3月1日第五福竜丸の乗組員たちが、ビキニ環礁で行われた米国による水爆実験に遭遇した事件をドキュメンタリー風に描いた巨匠・新藤兼人渾身の力作。本作の上映とあわせて中原中也賞受賞の詩人のアーサー・ピナード氏による講演会を行います。
8月15日(月) 【上映】10:30 / 16:00 / 18:45 【講演】13:15 ~ 15:05
※各回入替制。映画・講演ともに入場料が必要となります。講演会の入場料は、大人一律1,000円 / 小中高生800円(当日支払いのみ)です。
※講演会では、映画の上映はありませんのでご注意ください。
監督=新藤兼人 出演=宇野重吉 乙羽信子 ほか (1959年 / 日本 / 110分)

埼玉会館上映会 9月



『キートンの探偵学入門』(1924年/アメリカ/44分)
監督=バスター・キートン
出演=バスター・キートン キャサリン・マクガイア



『チャップリンの失恋』(1915年/アメリカ/19分)
監督=チャールズ・チャップリン
出演=チャールズ・チャップリン エドナ・バーヴィアンス

シネコンサート(無声映画上映ピアノ伴奏つき)

『キートンの探偵学入門』『チャップリンの失恋』
無声喜劇映画の傑作2本立てを即興のピアノ伴奏とともに
お楽しみいただく"シネコンサート"。
ご好評にお応えして再上映が決定!
9月13日(火) 14:00

ピアノ演奏=神崎えり
写真提供/発売元:アイ・ヴィー・シー

前売りチケット発売情報(～2011.9.15)

MUSIC

彩の国さいたま芸術劇場シリーズ企画 **バッハとの対話**
【Vol.1&Vol.2】堤 剛 無伴奏チェロ組曲全曲演奏会
【Vol.3&Vol.4】寺神戸 亮 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとバルティータ全曲演奏会
【Vol.5】小山実稚恵の《ゴルトベルク変奏曲》
改修明けのシーズンにトップ・アーティスト達が奏でるバッハの大作。バッハと向き合う、バッハと語らう。

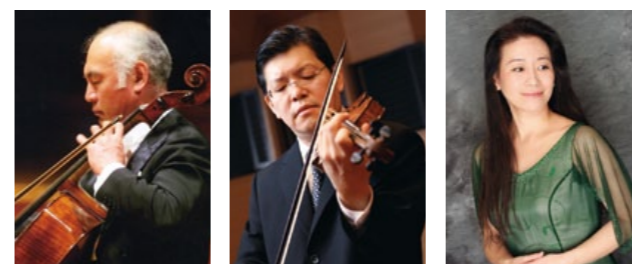


Photo:K.Miura Photo:T.Nagata Photo:Katsuo Sakayori

チケット発売日
【シリーズ・セット券】好評発売中
【Vol.1&Vol.2 通し券】一般:7月23日(土) メンバース:7月16日(土)
【Vol.3&Vol.4 通し券】一般:9月3日(土) メンバース:8月27日(土)
【Vol.1、Vol.2 各1回券】一般:9月24日(土) メンバース:9月17日(土)
※セット券・通し券は、財団ホームページではお取り扱いしていません。 ※Vol.3～Vol.5の各1回券は順次発売いたします。セット券、通し券で予定枚数終了の場合はご了承ください。

- 日時・曲目=
■ Vol.1 / 12月10日(土) 開演 14:00
J.S. バッハ：組曲第1番 ト長調 BWV1007、組曲第5番 八長調 BWV1011、
組曲第3番 八長調 BWV1009
■ Vol.2 / 12月11日(日) 開演 14:00
J.S. バッハ：組曲第4番 変ホ長調 BWV1010、組曲第2番 二短調 BWV1008、
組曲第6番 二長調 BWV1012
■ Vol.3 / 2012年1月28日(土) 開演 14:00
J.S. バッハ：ソナタ第1番 ト短調 BWV1001、バルティータ第3番 ホ長調 BWV1006、
ソナタ第3番 八長調 BWV1005
■ Vol.4 / 2012年1月29日(日) 開演 14:00
J.S. バッハ：バルティータ第1番 口短調 BWV1002、ソナタ第2番 イ短調 BWV1003、
バルティータ第2番 二短調 BWV1004
■ Vol.5 / 2012年2月25日(土) 開演 14:00
J.S. バッハ：《平均律クラヴィーア曲集第2巻》より 第15番 ト長調 BWV884
最愛の兄の旅立ちに寄せるカプリッチョ 変ロ長調 BWV992
ゴルトベルク変奏曲 BWV988

会場=彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
チケット(税込)=
【シリーズ・セット券(プログラム付き)】
一般・メンバース：正面席16,000円 / バルコニー席13,000円 (学生7,500円)
【Vol.1&Vol.2、Vol.3&Vol.4 各通し券】
一般・メンバース：正面席6,000円 / バルコニー席5,000円 (学生3,000円)
【Vol.1、Vol.2 各1回券】
一般：正面席4,000円 / バルコニー席3,000円 (学生1,500円)
メンバース：正面席3,600円

CINEMA

彩の国シネマスタジオ 埼玉会館上映会
シネコンサート(無声映画上映ピアノ伴奏つき)
『キートンの探偵学入門』『チャップリンの失恋』
無声喜劇映画の傑作2本立てを即興のピアノ伴奏
とともに楽しみいただく"シネコンサート"。

チケット発売日
一般・メンバース:7月21日(木)
日時=9月13日(火) 開演 14:00
会場=埼玉会館 小ホール ピアノ演奏=神崎えり
チケット(税込)=一般:前売1,500円 / 当日2,000円
メンバース、60歳以上、障がい者、小中高生:前売・当日とも1,500円
詳細はP.16にて



写真提供/発売元:アイ・ヴィー・シー

MUSIC

バッハ・コレギウム・ジャパン ヘンデル《メサイア》

彩の国さいたま芸術劇場恒例のBCJ公演。今年
はクリスマスの定番曲ヘンデルの《メサイア》を
604席の贅沢な空間で。



photo:Marco Borggreve

チケット発売日
一般:8月6日(土) メンバース:7月30日(土)
日時=12月23日(金・祝) 開演 16:00
会場=彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
出演=鈴木雅明(指揮)
ミリアム・アラン(ソプラノ)
クリント・ファン・デア・リンデ(アルト/カウンターテナー)
ジェイムズ・テイラー(テノール)
ステファン・マクラウド(バス)
チケット(税込)=一般:正面席8,000円 / バルコニー席7,000円 (学生3,000円)
メンバース:正面席7,500円

MUSIC

**埼玉会館ニューイヤー・コンサート2012
新日本フィルハーモニー交響楽団**

**広上淳一(指揮) 市原 愛(ソプラノ)
中井美穂(MC)**

毎年恒例、新年を音楽で楽しむニューイヤー・コ
ンサート。広上淳一のタクトに、新星ソプラノの
市原 愛が華を添えます。



photo:Greg Sailor

チケット発売日
一般:8月6日(土) メンバース:7月30日(土)
日時=2012年1月7日(土) 開演 15:00
会場=埼玉会館 大ホール
曲目=J. シュトラウスⅡ:喜歌劇《こもり》序曲、春の聲、美しく青きドナウ
ラヴェル:ボレロ ほか
チケット(税込)=一般:S席5,000円 / A席4,000円 / B席3,000円 / 学生B席1,500円
メンバース:S席4,500円 / A席3,600円 / B席2,700円

DANCE

ジェローム・ベル『ザ・ショー・マスト・ゴー・オン』

チケット発売日
一般:8月28日(日) メンバース:8月20日(土)
詳細はP.7～9にて

PLAY

**彩の国さいたま寄席 四季彩亭
～彩の国落語大賞受賞者の会
桃月庵白酒**

秋の四季彩亭は、平成22年度彩の国落語大賞を
見事受賞した桃月庵白酒の会。どうぞお楽しみに。

チケット発売日
一般:8月27日(土) メンバース:8月21日(日)
日時=11月20日(日) 開演 14:00
会場=彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
出演=桃月庵白酒 ほか
チケット(税込)=一般3,000円 メンバース2,700円
ゆうゆう割引(65歳以上、障がい者)2,000円



MUSIC

**埼玉会館ランチタイム・コンサート
第16回 十亀正司(東京響首席クラリネット奏者)と仲間たち**

お昼どきの50分間、出演者のお話を交えた演奏が好評の「ランチタイム」。
第16回はひと味違うアンサンブルをお届けします。

チケット発売日
一般:9月11日(日) メンバース:9月10日(土)

日時=12月15日(木) 開演 12:10(終演予定13:00) 会場=埼玉会館 大ホール
出演=十亀正司(ソプラノ・サクソフ、バス・クラリネット他)、三木 薫(アルト・サクソフ他)、渚 智佳(ピアノ)
チケット(税込)=全席指定1,000円

発売中公演情報

PLAY

『身毒丸』(会場:天王洲 銀河劇場)

日時=8月26日(金)~9月6日(火) 会場=天王洲 銀河劇場(東京都品川区)
 作=寺山修司/岸田理生 演出=蛭川幸雄
 出演=大竹しのぶ 矢野聖人(新人) 蘭 妖子 石井信一 六平直政 ほか
 チケット(税込)=一般:S席9,500円/A席8,500円 メンバース:S席8,800円/A席8,000円
 ※やむを得ない事情により出演者変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
 ※車いすでご来場のお客様は、チケットご購入後、お早めにホリプロチケットセンター(03-3490-4949)までお知らせください。

MUSIC

埼玉会館ランチタイム・コンサート

第15回 三浦一馬 バンドネオン・リサイタル

日時=9月16日(金) 開演12:10 会場=埼玉会館 大ホール
 曲目=〜オール・ピアノ・プログラム〜
 〈オブリヴィオン〉(天使のミロンガ) 〈アディオス・ノニーノ〉(リベルタンゴ) ほか
 料金=全席指定1,000円

MUSIC

小曾根 真の現在 Vol.2 ソロ

詳細はP.10~11にて

PLAY

彩の国シェイクスピア・シリーズ第24弾 『アントニーとクレオパトラ』

詳細はP.4~6にて

3才以上のお子さん
 から楽しんでいただけます

公演詳細は、財団ホームページ

<http://www.saf.or.jp>にて

[チケットの購入方法について]

【電話予約】チケットセンター

0570-064-939

10:00 ~ 19:00 (休館日を除く) ※一部携帯電話、PHS、IP電話からは受付できません。

MUSIC

小菅 優の現在 Vol.3 ピアノ・リサイタル

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.16 ダヴィッド・フレイ

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.17 金子三勇士

日時・曲目=
 【小菅 優の現在 Vol.3】10月15日(土) 開演15:00
 シューマン:幻想小曲集 作品12 リスト:ヴェネチアとナポリ、孤独の中の神の祝福 ほか
 【ピアノ・エトワール・シリーズVol.16 ダヴィッド・フレイ】11月26日(土) 開演15:00
 モーツァルト:幻想曲 八短調 KV 475
 ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第21番 八長調 作品53「ヴァルトシュタイン」 ほか
 【ピアノ・エトワール・シリーズVol.17 金子三勇士】2012年3月18日(日) 開演15:00
 リスト:ハンガリー狂詩曲第12番、スペイン狂詩曲 バルトーク:ピアノ・ソナタ ほか
 会場=彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
 チケット(税込)=
 ■3公演セット券
 一般・メンバース:正面席9,500円/バルコニー席8,000円(学生3,500円)
 ■各1回券
 【小菅 優の現在 Vol.3】
 一般:正面席4,000円/バルコニー席3,000円(学生1,500円) メンバース:正面席3,600円
 【エトワール・シリーズVol.16】
 一般:正面席3,500円/バルコニー席2,500円(学生1,000円) メンバース:正面席3,200円
 ※セット券は財団ホームページでのお取り扱いはございません。 ※Vol.17の1回券は10月発売予定。

MUSIC

カレファックス・リード・クインテット

詳細は下枠にて

MUSIC

彩の国さいたま芸術劇場シリーズ企画

バッハとの対話(シリーズ・セット券)

【Vol.1&Vol.2】堤 剛 無伴奏チェロ組曲全曲演奏会
 【Vol.3&Vol.4】寺神戸 亮 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータ全曲演奏会
 【Vol.5】小山実稚恵の《ゴルトベルク変奏曲》
 詳細はP.17にて

【窓口販売】※休館日を除く
 ・彩の国さいたま芸術劇場 10:00 ~ 19:00
 ・埼玉会館 10:00 ~ 19:00 ・熊谷会館 10:00 ~ 17:00

【SAF Online Ticket】
 一般発売初日10時より受付開始し、公演前日23:59まで受付いたします。
 ・財団ホームページ <http://www.saf.or.jp>
 ・携帯サイト <http://www.saf.or.jp/mobile/>
 ※利用登録が必要です(無料)。



PICK UP



Photo:Deen van Meer

最高にカッコイイ5人組がやって来る!

「ポップスのメンタリティを備えたクラシック・アンサンブル」と、その型にはまらない独自のスタイルと卓越した演奏技術で高い評価を受けているオランダ出身の5人組リード・アンサンブル カレファックス。古楽もジャズも既成の曲は自分たちでアレンジし、または自分たちで新たに作曲をしたり、作曲家に新作を依頼したりと、彼らのレパートリーはとてユニーク。結成25周年を迎えたカレファックスの絶妙のアンサンブルから生まれる自由自在な音色を聴けば、ジャンルを超えた音楽の深さ、楽しさ、カッコよさを発見できるに違いない!

カレファックス・リード・クインテット

日時=11月5日(土) 開演16:00 会場=彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
 曲目=グリーグ(R.ヘッケマ編曲):ホルベアの時代から(ホルベルク組曲)
 ピアソラ(J.アルタウス編曲):フガータ ほか
 チケット(税込)=一般3,500円 学生1,500円 メンバース3,200円

THEATER BRIDGE

Information 彩の国さいたま芸術劇場リニューアルオープン記念

劇場内覧会の参加者募集!

10月1日の全館オープンに先立ち、リニューアル工事の概要説明と劇場内の各ホールや最新の舞台設備を一定早くご案内いたします。

【日時】9月15日(木) 午前の部:10時/午後の部:14時(各回1時間程度)

【定員】120名(各回60名、参加無料、応募多数の場合は抽選)
 ※参加券の発送をもって抽選結果の発表にかえさせていただきます。
 ※メンバースの方への優先枠あり

【申込み方法】
 必要事項①~⑥をご記入の上、ハガキまたはFAXにてお申込みください。
 ①氏名(フリガナ) ②郵便番号・住所 ③年齢 ④会員番号(メンバースの方のみ)
 ⑤参加希望の回 ⑥希望人数(1枚で2名様まで)

【申込み締切】8月19日(金) 必着
 【問い合わせ・申込み先】〒338-8506埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1(公財)埼玉県芸術文化振興財団「劇場内覧会係」
 TEL. 048-858-5501 FAX. 048-858-5515

Information

「みんなのオルガン講座 レクチャー」受講生募集!

彩の国さいたま芸術劇場では、小型で移動可能なパイプオルガン“ポジティブ・オルガン”を使用した「みんなのオルガン講座 レクチャー」を今年も開講します。「オルガンのことを知りたい」という方は奮ってご参加ください!



【日時】11月23日(水・祝) (A) 13:30~15:15 (B) 11:00~12:30

(A) はじめて知るパイプオルガン(初心者向け)
 (B) パイプオルガンの旅 17~18世紀フランス編
 (オルガンについてより詳しく知りたい方向け)

【対象】(A)小学生以上 (B)高校生以上 ※定員各20名

【講師】大塚直哉(東京藝術大学准教授)

【受講料】各回500円

【申込み方法】
 往復はがきの往信裏に、下記①~⑨をご記入の上、下記宛先までお申込みください。
 ①希望の講座(AまたはB) ②郵便番号 ③住所 ④氏名(ふりがな) ⑤年齢
 ⑥電話番号 ⑦FAX番号 ⑧メールアドレス ⑨お子様の付添などでの受講希望者名
 ※原則として、応募者1名につきハガキ1通でのお申し込みとなりますが、お子さまの付添としてレクチャーにお越しになった方にも、受講料が必要となります。親子などで参加する場合には、応募ハガキにその旨を必ず明記してください。

【申込み締切】10月21日(金) 消印有効
 ※応募者多数の場合は抽選。返信はがきにて結果をお知らせいたします。(10月中発送予定)

【問い合わせ・申込み先】
 〒338-8506埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1
 彩の国さいたま芸術劇場 事業部「みんなのオルガン講座」係
 TEL. 048-858-5506(事業部 音楽担当) FAX. 048-858-5515

ACCESS MAP アクセスマップ

彩の国さいたま芸術劇場



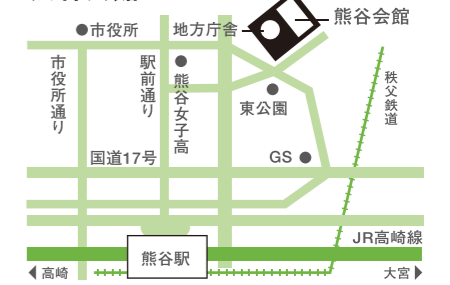
〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1
 電話:048-858-5500(代) ファックス:048-858-5515
 電車でのアクセス JR 埼京線と野本町駅(西口)下車 徒歩7分
 バスでのアクセス JR 北浦和駅から西武バス大久保行き
 「彩の国さいたま芸術劇場入口」下車 徒歩2分

埼玉会館



〒330-8518 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4
 電話:048-829-2471(代) ファックス:048-829-2477
 電車でのアクセス JR 京浜東北線浦和駅(西口)下車 徒歩6分

熊谷会館



〒360-0031 埼玉県熊谷市末広3-9-2
 電話:048-523-2535(代) ファックス:048-523-2536
 電車でのアクセス JR 高崎線熊谷駅(北口)下車 徒歩15分

※駐車台数に限りがありますので、ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

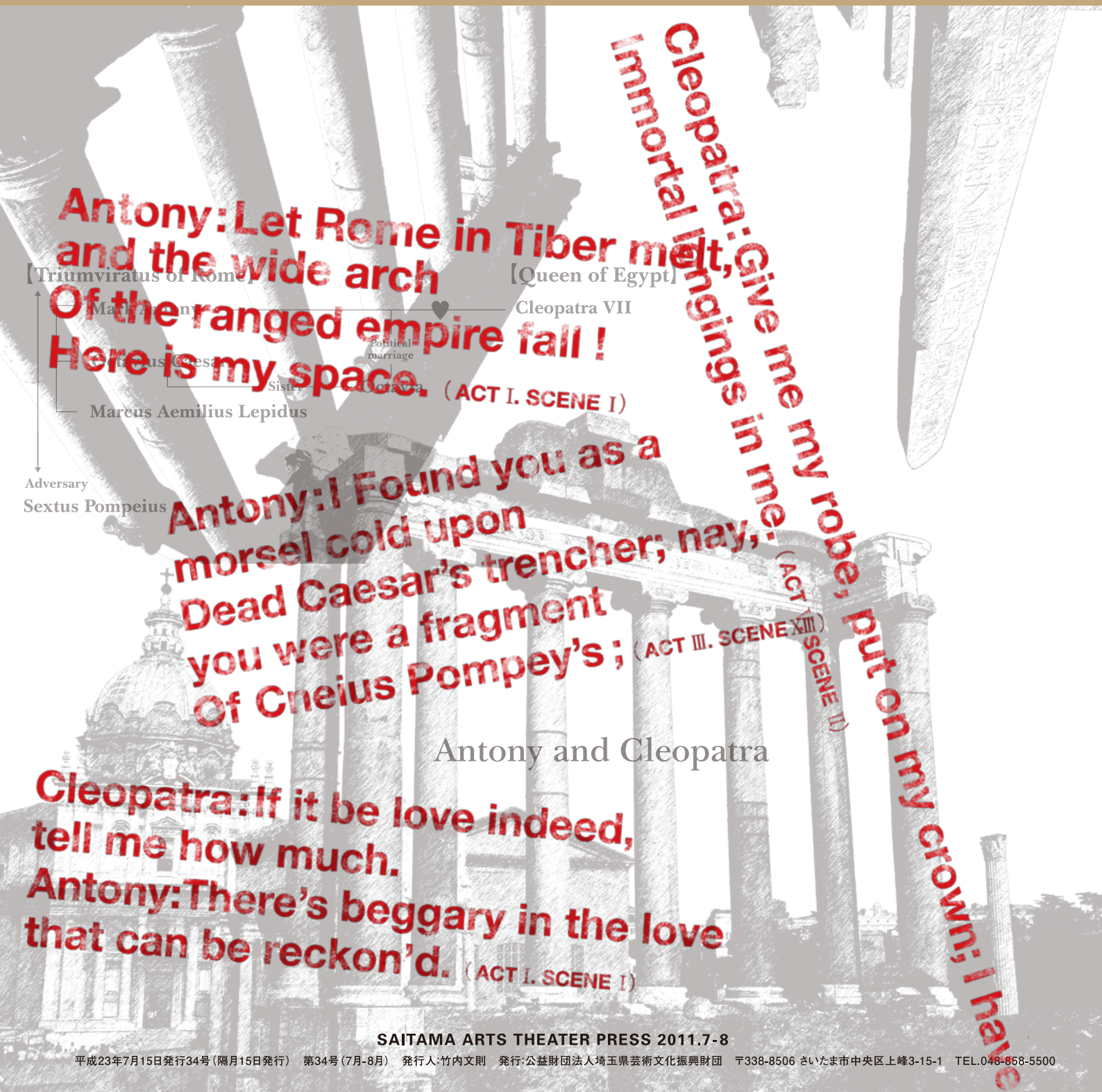
■サポーター会員

(公財)埼玉県芸術文化振興財団は、演劇、ダンス、音楽を中心に、この劇場でしか見られない最高の作品を提供できるよう、蛭川幸雄芸術監督のもと、作品づくりに努めています。こうした財団の活動にご理解、ご支援をいただいているのが(公財)埼玉県芸術文化振興財団サポーター会員の皆様方です。

(株)与野フードセンター／(株)亀屋／武州ガス(株)／(株)松本商会／(有)香山壽夫建築研究所／埼玉新聞社／(株)テレビ埼玉ミュージック／埼玉りそな銀行
(株)パシフィックアートセンター／(株)アサヒコミュニケーションズ／FM NACK5／東京ガス(株)／カヤバシステム マシナリー(株)／(株)タムロン／(株)十万石ふくさや
森平舞台機構(株)／東芝ライテック(株)／埼玉トヨタ自動車(株)／(有)齋賀設計工務／ゲレツ・ジャパン・スズゼン(株)／武蔵野銀行／浦和ロイヤルパインズホテル
(株)アルピーノ／国際照明(株)／(株)サイサン 会長 川本宜彦／三国コカ・コーラボトリング(株)／埼玉スバル自動車(株)／桶本興業(株)／(株)佐伯紙工所
(株)太陽商工／(株)しまむら／アイジャパン(株)／(有)六辻ゴルフセンター／不動開発(株)／ビストロ やま／埼玉縣信用金庫／(株)栗原運輸／彩の国SPグループ
(有)プラネッツ／関東自動車(株)／(株)クマクラ／(株)デサン／(株)中島運輸／セントラル自動車技研(株)／(株)アズマン／丸美屋食品工業(株)／ボラスグループ
ひがし歯科／(株)日産サテオ埼玉／埼玉トヨペット(株)／公認会計士 宮原敏夫事務所／(株)価値総合研究所／(株)埼玉交通／医療法人 顕正会 蓮田病院
(株)ウイズネット／サイデン化学(株)／アイル・コーポレーション(株)／五光印刷(株)／旭ビル管理(株)／ヤマハサウンドシステム(株)／(株)エヌテックサービス
(株)クリーン工房／(株)つばめタクシー／(株)サンワックス／(株)綜合舞台／(株)タクトコーポレーション／広総業(株)／(財)さいたま住宅検査センター／(株)コマーム
相川 宗一／(株)国大セミナー／(株)NEWSエンターテインメント／(株)オーガス／イープラス

H23.6.15現在／一部未掲載

[問合せ先] (公財)埼玉県芸術文化振興財団 営業宣伝課 サポーター会員担当 TEL 048-858-5507



**Antony: Let Rome in Tiber melt,
and the wide arch
Of the ranged empire fall!
Here is my space.**
(ACT I. SCENE I)

【Triumviratus of Rome】

【Queen of Egypt】



**Antony: I Found you as a
morsel cold upon
Dead Caesar's trencher; nay,
you were a fragment
Of Cneius Pompey's;**
(ACT III. SCENE XIII)

Antony and Cleopatra

**Cleopatra: If it be love indeed,
tell me how much.
Antony: There's beggary in the love
that can be reckon'd.**
(ACT I. SCENE I)

**Immortal hangings in me-
Cleopatra: Give me my rope,
but on my crown; I have**